

大和住銀日本小型株ファンド

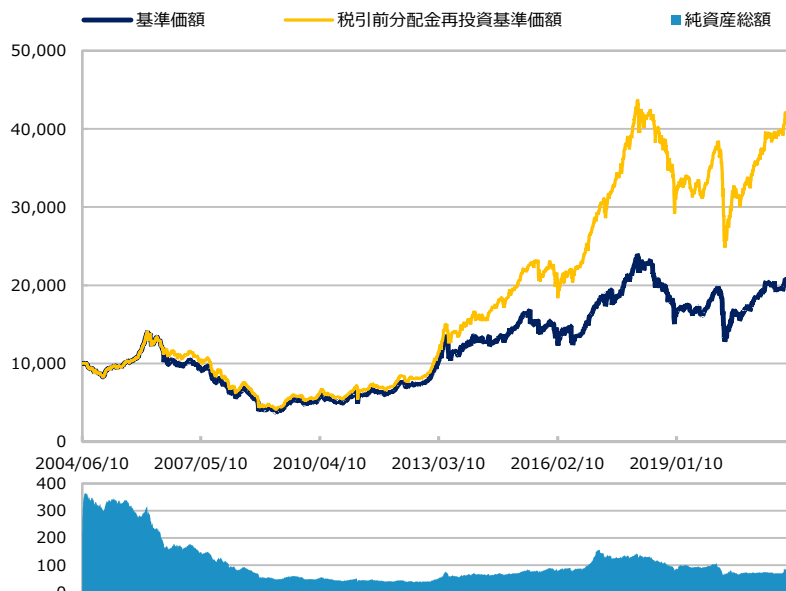
【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

ファンド設定日：2004年06月11日

日経新聞掲載名：日本小型

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	20,522	-310
純資産総額（百万円）	8,236	-173

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 カ月	2021/09/30	-1.5
3 カ月	2021/07/30	4.8
6 カ月	2021/04/30	6.7
1 年	2020/10/30	28.0
3 年	2018/10/31	16.3
設定来	2004/06/11	315.3

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第13期	2017/06/12	1,900
第14期	2018/06/11	1,300
第15期	2019/06/10	0
第16期	2020/06/10	0
第17期	2021/06/10	850
設定来累計		10,550

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

※ 当ファンドでは、東証一部への指定替えとなった銘柄の保有を継続する場合があります。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	94.8	+0.9
第1部	10.4	+0.3
第2部	35.1	+0.5
ジャスダック	37.2	-0.5
その他	12.1	+0.6
先物等	0.0	0.0
現金等	5.2	-0.9
合計	100.0	0.0

運用概況

当月末の基準価額は、20,522円（前月比-310円）となりました。
また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、-1.5%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

ご参考 市場動向



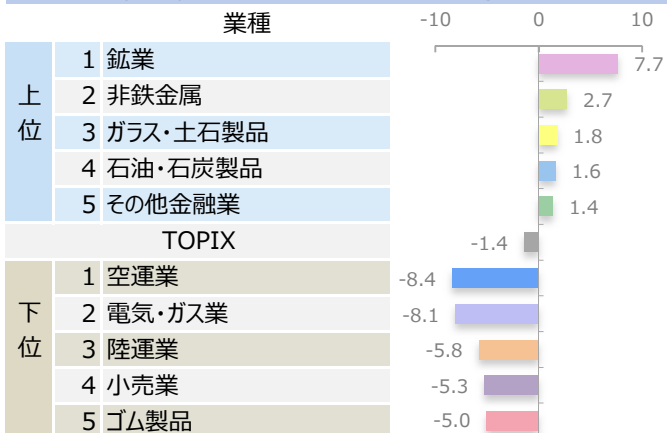
当月末：2,001.2 前月末：2,030.2 騰落率：-1.4%

日経平均株価 (円)



当月末：28,892.7 前月末：29,452.7 騰落率：-1.9%

TOPIXの東証業種分類別月間騰落率 (%)



※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

市場動向

緊急事態宣言等の全面解除に伴う経済正常化への期待がプラス材料となりましたが、米国でのインフレ懸念や中国での電力規制や不動産業界の過剰債務問題などがマイナス材料となり、下落しました。月末にかけては、米国で好調な企業決算を受け株価指数が最高値を更新したことや、米ドル/円が3年11ヵ月ぶりの円安水準をつけたことなどが市場の下支えになったものの、衆院選の投開票や企業決算発表の本格化を控え様子見姿勢が強くなりました。

業種別では、鉱業、非鉄金属、ガラス・土石製品などが市場をアウトパフォームした一方、空運業、電気・ガス業、陸運業などがアンダーパフォームしました。

市場見通し

世界景気については、ワクチン効果を活用した緩やかな規制の下、ウィズコロナ下で経済回復基調が継続しています。株式市場は、上値を抑える要因であった国内政局の先行き不透明感の後退を受けて、新政権による経済対策や良好な企業業績に焦点が移ることで、堅調な展開を予想します。低下基調が続いていたバリュエーション（投資価値評価）に注目が集まることで、日本株の保有比率の少ない海外投資家の買い越す動きを想定します。

■ 設定・運用



大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

基準価額の変動要因（円）

全体		業種別要因		銘柄別要因			
	寄与額		寄与額		寄与額		
株式	-282	上位	1 その他製品	+157	上位	1 シー・エス・ランパー	+123
先物・オプション等	0		2 建設業	+66		2 第一カッター興業	+64
分配金	0		3 ゴム製品	+20		3 ノダ	+44
その他	-28		4 鉄鋼	+3		4 ランドネット	+26
合計	-310		5 金属製品	+2		5 三協フロンテア	+22
		下位	1 化学	-127	下位	1 綜研化学	-82
			2 サービス業	-127		2 オプティマスグループ	-51
			3 卸売業	-87		3 クリーマ	-48
			4 小売業	-52		4 エイジス	-41
			5 情報・通信業	-38		5 パーカーコーポレーション	-32

※ 基準価額の月間変動額を主要要因に分解したもので概算値です。

組入上位10業種（%）

	当月末	前月比	
1 サービス業	17.6	+0.3	17.6
2 その他製品	10.6	+1.0	10.6
3 卸売業	9.9	-0.4	9.9
4 化学	8.6	-0.6	8.6
5 金属製品	7.3	+0.1	7.3
6 建設業	6.8	+0.5	6.8
7 小売業	5.8	-0.1	5.8
8 不動産業	5.1	+0.1	5.1
9 ゴム製品	4.6	+0.4	4.6
10 機械	3.7	+0.1	3.7

※ 業種は東証業種分類です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

組入上位10銘柄（％）

（組入銘柄数 117）

銘柄	業種	比率	コメント
1	ニチリン ゴム製品	4.2	独立系自動車ホース大手。2輪車ブレーキホースで高シェアを持つ。取引はホンダ主体。熱交換器（IHX）も手掛ける。
2	クリヤマホールディングス 卸売業	3.2	日米欧で産業資材事業を展開。消防用ホース、飲料用ホース、体育館用床材、排ガス処理装置向けセンサーなど多彩な製商品を扱う。
3	ノダ その他製品	3.2	全国に販売網を持つ木質系住宅建材メーカー。繊維板にも強みを持つ。健康配慮内装材の事業を拡充。子会社で合板も手掛けている。
4	イハラサイエンス 金属製品	3.2	産業用継ぎ手最大手。半導体業界向けのクリーンバルブと、一般産業用油圧バルブが2本柱。
5	第一カッター興業 建設業	3.1	ダイヤモンド使用のコンクリート構造物切断・穿孔工事が主力。水圧のウォータージェットも手掛ける。
6	ナラサキ産業 卸売業	3.0	北海道が地盤。三菱電機代理店業務が柱。事業は農業設備、燃料、建設資材、港湾作業、建機にと、多角化している。
7	ニッピ その他製品	2.7	ゼラチン、コラーゲン、化粧品等が主力。旧大倉財閥グループ。本社再開発へ。iPS細胞開発も手掛ける。
8	三協フロンテア サービス業	2.5	仮設ハウスのレンタル、販売でトップ級。仮設より大規模な本建築も拡充している。中期配当性向は35%を目途としている。
9	エイジス サービス業	2.2	棚卸代行で国内断トツ。地域FC等と連携し全国に展開している。海外棚卸代行も手掛け、国内店舗サポートを拡大している。
10	ケーユーホールディングス 小売業	2.0	関東地盤の中古車販売大手。整備機能の充実した大型店で顧客の囲い込みを行なっている。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

ファンドマネージャーコメント

10月の株式市場は、半導体やコンテナ船の不足による供給障害が広い産業分野に影響を及ぼし始めたことや、中国不動産各社の経営危機、米国の財政問題などを懸念して調整局面となり、大型株・小型株とも小幅に下落しました。当ファンドも市場全体と同様に下落しました。

2018年以降の小型株市場は、3年間にわたって成長イメージの強い銘柄に資金が集中したため、PER（株価収益率）・PBR（株価純資産倍率）等で見られた市場内格差はかつてないほど拡大しました。2021年に入ってから若干の割安株優位に転じていますが、今後さらにこの傾向が拡大する可能性は高いと考えます。当ファンドでは、今後も割安株投資を徹底します。

<結局最後は人間>

人工知能の発達により、人間の仕事が失われるのではないかという議論が一時よく聞かれました。社会全体という意味では、それは極論に過ぎなかったと考えていますが、一部でコンピューターが人間を急速に置き換えているのは事実です。しかし、そういった分野でも人間の仕事が完全になくなるわけではありません。そのことを示す企業の一つが翻訳センター（2483）です。

同社の主力事業は、医薬品関連や特許関連など専門性の高い文書の翻訳です。そのほか、通訳の派遣や国際会議の事務局受託なども行なっています。

新型コロナウイルスの影響で、前期は全ての事業が打撃を受けました。今期も渡航制限の影響で国際会議などは低迷が続いていますが、主力の文書翻訳に関しては急速に回復しています。

文書翻訳が急回復しているのは、顧客企業の事業意識が復活していることに加え、同社が自動翻訳を高いレベルで活用し、品質や納期などの面で満足度を高めていることが理由です。自動翻訳は近年もっとも急速に進歩した技術ですが、厳密性や文章としての完成度といった面で、まだ技能を持つ人間にはかないません。したがって、重要性の高い文書に関しては、まず下処理を自動翻訳で行い、それを用いて専門家が完成させるという形が合理的です。同社は業務に用いる自動翻訳ソフトについて、文書のデータ構造に関する深い知見を加え、専門化された複数のシステムに仕上げることで、生産性の向上を実現しているのです。

汎用の翻訳ソフトに関しては、製品間の性能差も縮小し、あっという間に成熟市場となってしまいました。しかし、高い品質が求められる文書に関しては、依然として人間が行うべき領域が大きく残されているのです。専門的な知見を厚く有するトップ企業に関しては、デジタル化に正しく対応さえすれば、存在意義がなくなることはないでしょう。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

ファンドの特色

1. 東京証券取引所市場第一部銘柄（以下「東証一部銘柄」）を除くわが国の株式（JASDAQ・東証二部・マザーズ等の上場されている株式）を主要投資対象とします。
※ただし、投資している銘柄が、保有期間中に東証一部銘柄になった場合は、保有を継続する場合があります。
 2. 綿密な企業分析によるボトムアップ・アプローチにより、「ファンダメンタル価値に対して株価水準が割安と判断する銘柄」および「将来収益への成長期待が高く、成長の持続力があると判断する銘柄」に投資します。
 3. 株式の組入れについては、通常の状態では原則として信託財産の純資産総額の70%程度以上となることを基本とします。
- ※ 大量の追加設定・解約が発生したとき、および市況動向やファンドの状況（残存信託期間、残存元本等）によっては、ならびにその他やむを得ない事情が発生した場合には、上記の運用が行えないことがあります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 価格変動リスク

当ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に投資します。投資対象である有価証券等の価格が下落した場合には、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。

■ 株価変動に伴うリスク

株価は、発行企業の業績や市場での需給等の影響を受け変動します。また、発行企業の信用状況にも影響されます。これらの要因により、株価が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。

■ 流動性リスク

投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることとなったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

■ 信用リスク

株式の発行企業の財務状況等が悪化し、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の株価は大きく下落し、投資資金が回収できなくなることもあります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

投資リスク

その他の留意点

- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。

信託期間

2024年6月10日まで（2004年6月11日設定）

決算日

毎年6月10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金支払いコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.672%（税抜き1.52%）**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



大和住銀日本小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2021年10月29日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会 一般社団法人	一般社団法人 投資信託協会	備考
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○		

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

